

ここがいい！ こながい

小長井図書館だより

2025年 5月号 No.297



諫早市立小長井図書館
〒859-0165
諫早市小長井町小川原浦825
(小長井文化ホール内)
0957-34-2972
開室時間
火～金 午前10時～午後6時
土・日 午前 9時～午後5時

ゴールデンウィーク中の諫早市立図書館の開館状況

	5月						
	1 (木)	2 (金)	3 (土)	4 (日)	5 (月)	6 (火)	7 (水)
諫早	○	○	○	○	×	○	○
西諫早	○	○	○	○	×	×	○
たらみ	○	○	○	○	×	○	○
森山	○	○	○	○	○	×	○
飯盛・高来 小長井	○	○	○	○	×	×	○



※ 5/6(火) 諫早図書館の開館時間は10:00～17:00です

※ 5/5(月) 森山図書館、5/6(火) たらみ図書館の開館時間は10:00～18:00です

※ その他の開館時間は通常通りです

5月カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



おはなし会
5月10日(土)
14時から

おはなし会
休館日

新着案内【一般書】

『交番相談員百目鬼巴』 長岡弘樹：著 文藝春秋

警察を定年退職し、非常勤の「交番相談員」として働いている百目鬼巴。彼女は卓越した洞察力で、目の前で起こっていることの真相・裏側を立ちどころに見抜いてしまう。

『闇をわたる』 堂場瞬一：著 文藝春秋

セレブ出身の二階堂の肩書は警視庁特別対策捜査官。成金社長の時計盗難事件の捜査を続ける二階堂だったが、今度は高級官僚の引きこもり息子による強盗事件が起きる。2つの事件はあらたな殺人を呼び…。

『新・貧乏はお金持ち』 橘玲：著 プレジデント社

なぜ我々は「ピンボー」から逃れられないのか。搾取され続けるサラリーマンに向けて、合法的に「国家に逆襲する」方法を徹底解説。複雑怪奇な不条理国家・ニッポンを生き抜く「新しい地図」を示す。

『こんなことで、死にたくなかった』 高木徹也：著 三笠書房

『開運大笑い』 木村れい子：著 内外出版社

『家庭菜園の自然農業』 ブティック社



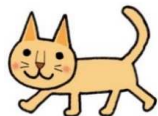
新しい雑誌が入りました
『旅の手帖』





『おんぶねこ』

殿本祐子：作 講談社



いつでもどこでも、こねこをおんぶしているおとうさんねこ。スーパーに行くときも料理をしているときもおんぶしています。ところがある日、「もうおんぶおろして」と言われ…。ワンオペ育児おとうさんねこの日常を描いた絵本。



『マイヤーさんと大きくなりすぎた犬』

リリアン・ムーア：作 レオーネ・アデルソン：作
kei saito / 絵 さ・え・ら書房



ノディンさん一家の犬のバターボールは、いつもいたずらばかりで、もうお手上げ。ある日、野良犬をつかまえる、町の犬の捕獲人マイヤーさんがやってきて…。人と犬が心を通わせる、楽しくて心あたまる物語。



『木から家がでるまで』

モリナガヨウ：作 道江紳一：監修 ほるぷ出版

山から木を切り出すところからはじまり、家を建て、瓦や畳、襖や障子を作り、自然の素材の和室ができるまでを紹介する。日本の伝統文化である和室を楽しく、わかりやすく伝える絵本。監修者による解説付き。



キッズ&ティーンズスタッフ 活動の様子



現在、小長井図書室では
小学3年生と中学3年生の2名が
ボランティアスタッフとして
活動してくれています。



本の返却と貸出を
しています。



返却された本を
除菌機で消毒します。



※内容紹介は新刊全点案内より